

事業所における自己評価結果 放課後等デイサービス (公表)

令和2年 10月10日実施

事業所名 多機能型事業所 いすみ・ぷれも 14/14 回収率100%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している点
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係が適切であるか	14			・コロナ感染予防の為グループでは、利用規定人数は受け入れていませんが人数が増えると狭いので対応策を考えています。
	②	職員の配置数は適切であるか	14			・職員の配置数に関する事は、事務職員が職員会議で報告をしています。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	12	1	1	・子どもが2階への上り下りをする際は、バリアフリーになっていないので、大人が手をつないで行う事としています。 ・子ども用手すりを設置しました。
業務改善	④	業務改善を進めるための、PDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	14			・支援の目的を共有しPDCAを実施しています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	14			・療育についての具体的なアンケートを調査を行い、療育等を組み立てています。
	⑥	この自己評価の結果を、事務所の会報やホームページ等に公開しているか	14			・ホームページに、自己評価表を公開しています。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	14			・年2回第三者委員会を開催し、受けた提案や意見を職員と検討し業務改善につなげています。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	14			・外部講師による研修や内部の専門による指導を受けて、職員の専門性の向上に努めています。
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	14			・ケース会議で子どもの発達の状況や課題、保護者のニーズを分析して支援計画を作成しています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	14			・子どもの状況に合わせてアセスメントツールを使用しています。障害の程度が重度の場合は、保護者と連携を取りながら改善を図っていきます。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	14			・支援チームで年間プログラムを作成し、利用者の長期目的達成に向けて療育を行っています。 ・当事業所の支援形態は、個別活動支援と小集団活動支援の2本柱となっています。 ・支援計画に基づいてプログラムを立案したり、チームでプログラムを立案したりしています。 ・支援方針に沿って子どもの状況に応じてプログラム内容を変える工夫をしています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	14			
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	14			
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	14			・療育についての具体的なアンケート調査を行い、療育計画等を組み立てています。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	14			・充実した支援を行うために、療育間の空き時間や職員の打合せや療育の準備の時間を確保するように努めています。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	14			
⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	14			・記録は毎日療育終了後に行っています。また、記載チェックを記載者以外の職員とお互いに確認し合っています。	

	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	14			・年2回以上のモニタリングを行い支援計画の見直しをしています。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	14			・その子どもにとって必要な基本活動の自立支援と日常生活の充実のための活動などの複数を組み合わせさせて支援を行っています。
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	14			・学校、保育所等のケース会議には、管理者・担当指導員等が参画しています。
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	14			・送迎は行っていません。利用者の出欠、遅刻等の連絡は、適切に行っています。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連携体制を整えているか	14			・基本的に事業所には親子の来所であり、保護者にケアをお願いしています。 ・職員も保護者との連携をとり指導を受けています。 ・必要に応じて、主治医等と連携体制を整えています。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	13	1		・就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等などと連携を取っています。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	14			・事業所では、児童、生徒の支援内容を提供しています。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	14			・積極的に、外部の専門研修なども受講しています。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	12	2		・利用者は通常学校に通学し、事業所外での交流がある子どもが多いです。 ・今後必要性があれば、企画を考えて行きたいです。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	14			・地域自立支援協議会等へ積極的に参加しています。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	14			・支援の終了後、子どもの状況や課題を伝えあうよう心掛けていますが、今後さらに共通理解を持てるよう工夫をしていきたいです。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援をおこなっている	12	2		・日々の様子を共有をする中で、保護者の方の悩みや課題に寄り添うようにしています。
	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	14			・契約時に説明し、療育的な活動方針も伝えていきます。
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	14			・事業所に対応もしくは電話での対応体制を整備しているほか必要に応じて話し合う時間も設けています。 ・申し入れにも職員間で発生原因と改善策を共有し、迅速に対応しています。

保護者への説明責任等	③②	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	13	1	<ul style="list-style-type: none"> ・今年6月の保護者会は、コロナ感染予防対策で開催中止となりました。 ・各保護者には総会の内容を含め、いすみ・ぷれも理事長の理念を文書で通知しました。 ・今年12月には保護者会を行い保護者同士が連携できるようにしたいです。
	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	14		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者が気軽に相談できるように心がけていきたいです。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	14		<ul style="list-style-type: none"> ・月1回”いすみ・ぷれも”を発行して保護者に配布しています。 ・さくら連絡網でもメールで発信しています。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	14		<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報については十分に配慮しています。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	14		<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の行動状態から思いを読み取るようにしています。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	14		<ul style="list-style-type: none"> ・自治会に入会して会報だよりをもらい、いすみ・ぷれもだよりを自治会長に配布し内容に共通理解を得ています。
	非常時の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	14	
③⑨		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	14		<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に月に1回職員対象の避難訓練を実施しています。 ・訓練の時に避難・救出についても話し合っています。
④⑩		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	14		<ul style="list-style-type: none"> ・虐待防止マニュアルを作成し、職員へ周知するとともに研修を実施しています。
④⑪		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	14		<ul style="list-style-type: none"> ・療育時は基本親子での参加であり、事業所独自の身体拘束はありません。
④⑫		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	12	2	<ul style="list-style-type: none"> ・医師の指示書に基づき、個別で対応しています。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	14		<ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハット用紙を作成し、職員で情報について共有し、事故防止を常に意識するようにしています。